

がまごおり

議 会

だ よ り

●12月市議会定例会・臨時会●

- 一般質問…ここが論点…………… 2～5
- 議決された主な議案…………… 6～8
- 委員会通信…………… 9
- 議会日誌、3月定例会予定…………… 10

NO. 67
2011.2

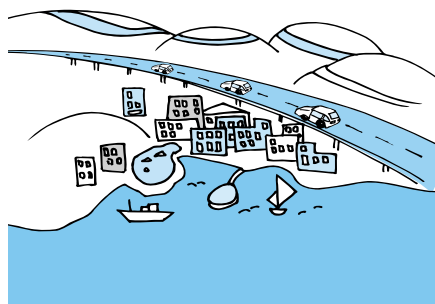


新しいスタート(今年の三河湾健康マラソン大会は2月13日)

一般質問…ここが論点



12月市議会定例会中、11月30日、12月1日、2日の3日間で、市政全般について14人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。詳しい内容をお知りになりたい方は、12月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも3月上旬の予定です。また、インターネット録画放送も実施していますのでご覧ください。



飛田常年(市政クラブ)

蒲郡港マイナス11m岸壁の整備について

問 マイナス11m岸壁整備の今後の見通しは。

答 今年の8月に重点港湾として選定され、事業の進捗に大きな期待が寄せられている。さらに、自動車の輸出がかなり多い。こうした背景の中で、平成26年度には一部岸壁が供用できる予定と聞いている。

西大塚千尾地区基盤整備事業について

問 今後、計画どおりに進むのかどうか見通しは。

答 平成23年度に事業認可を受ければ、最短、27年に換地処分ができる。

相楽町生活プロジェクト実験集落整備事業

問 施行後40年余り経過し施設の老朽化が著しいと聞いているが市の対応は。

答 生活排水処理施設について、23年2月末を目標に対応策を検討中である。

柴田安彦(日本共産党)

市の財源確保とその活用について

問 市はすぐに財源がないと言うが、地方交付税と臨時財政対策債で、8億3千万円の財源が確保できる。蒲郡海洋開発(株)への増資(3億円)、減債基金への積み戻し(2億6千万円)に使うのではなく、公共施設の修理・修繕、地域要望等の前倒しに使い、市内の景気回復をはかるべきではないか。

答 臨時財政対策債は本来地方交付税なら実際の

ラグーナ蒲郡



お金がくるべきところ、国に現金がないという理由から起債というかたちをとっている。現金で交付される地方交付税であれば使えるが、将来交付税として交付されるかどうか不安なところもあり、借入金が増える状態の中で、全部使うという考えはない。年度の後半に向け、歳入歳出の全体像がはっきりした段階で、次の3月議会で何らかの補正というものは、やぶさかではないと思っている。

日恵野佳代(日本共産党)

市内の緊急景気対策として

問 住宅リフォーム助成制度の予算を緊急に、追加すべきではないか。

答 すごい効果であった。議会の皆さんと考えていきたい。

問 市民プール、勤労青年ホームも、必要な工事を市内業者に発注して事業継続すべきでは。

答 今年度末までには方向性を出していきたい。

市民の足確保、公共交通機関の充実

問 巡回バスを実施していないのは東三河で蒲郡市だけ。実施すべきでは。研究をしていく必要があると考えている。

例外なしの関税撤廃を前提とするTPPについて

問 TPP参加反対を表明するべきではないか。TPPは反対。日本の農業を守るべきだ。

松本昌成(公明党)

今後の行財政改革の推進は

問 今後の行財政改革の推進に対する市の考えは。

答 集中改革プランの見直しは考えていないが、今年度中に新財政健全化改革チャレンジ計画を策定していきたい。今後数年間は定年退職者の増加により職員数は減少していくが、市民サービスを下させないように行財政改革の継続的な推進と将来に向けた財政健全化に積極的に取り組んでいかなければならない。

救急医療情報キットの導入は

問 緊急事態発生時に本人情報が容易に入手でき、迅速な救急医療に役立つ。キットに対する市の認識は。

答 高齢者など社会的弱者の安全、安心を確保するためにもキットの導入は非常に有用である。普及のための周知方法や配布方法

救急医療情報キット(東京都大田区の例)



など関係機関と協議の上、導入に向けて検討していく。

伊藤勝美(公明党)

エピペンに対する取り組みは

問 緊急用アドレナリン自己注射「エピペン」に対する市の取り組みは。

答 救急救命士はエピペンの指導をする立場にないため、保育士を対象に勉強会という形で訓練用注射器を見ながら説明書に記載してある事項を紹介するにとどめた。教職員からの要望があれば、教育委員会と

の連携のもと、エピペンの情報交換など紹介をしていきたい。

オストメイト対応型トイレの整備予定は

問 市役所庁舎内に対応型トイレの整備が必要と思うが、今後の市の対応は。

答 市内の膀胱・直腸機能障害による身障者手帳所持者は107人で、人数的に増加傾向にある。整備の必要性は認識しており、本館1階中央の身障者トイレを対応型トイレに改修する方向で検討していきたい。



オストメイト対応型トイレ

鎌田篤司(市政クラブ)

蒲郡市第四次総合計画について

問 効率的な行政運営を行うにあたり、広域連携の推進は必要不可欠である。審議の中では広域連携をどのように考えていたのか。

答 効率的で質の高い行政サービスを提供するために、広域行政の一層の推進や周辺市町との協調関係を充実させていくことが議論され、重点プログラムに位置づけられる方向で調整している。重点プログラムには設楽ダムの問題や観光振興など盛り込んでいきたい。

漁業・水産業の人材育成事業の継続は

問 フィッシャーマン21計画の軌道に乗ってきたところで終わってしまう。事業の継続に対する市の考えは。

答 同じような事業の取り組みが継続的に国等であれば、市として商工会議

形原漁港



荘田博己(未来の会)

蒲郡市としての愛知県への要望について

問 市の優先順位の高い課題と要望の手法を伺う。

答 優先順位はつけていない。ハード事業は県市意見交換会を通じ、国道247号中央バイパス、マイナス11m岸壁整備に関して重要性を特に述べている。ソフト事業は市長会を通じて、東三河地域の医療体制整備、公共交通の支援、小中学校の耐震化等の財源確保を要望している。

各所属でも日常業務の中で要望活動を行っている。

問 蒲郡市民病院に関して、愛知県の地域医療再生計画は機能しているか。

答 豊橋市民病院から小児科の医師を2週間に一度(午前)派遣して頂いているのが現状である。

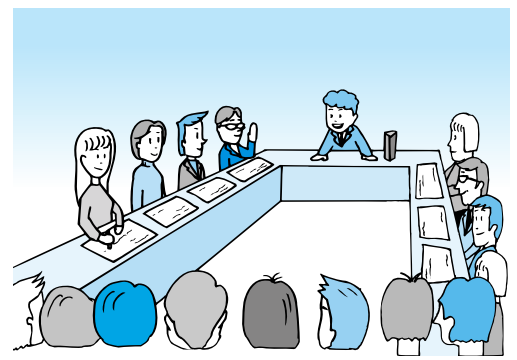
- その他の質問
- 1 地デジ放送での電波障害対応について
 - 2 国の目指す鳥獣被害緊急総合対策について

伴 捷文(市政クラブ)

新年度予算編成について

問 来年度の歳入予算の見通しについて伺う。

答 市税収入は1億1500万円減の124億9千万円程度、地方交付税は22年度と同額を要望している。また、今回の補正予算で23年度に加算して交付するとされているものについては今後の国の動向等を踏まえ算定する。



問 来年度の歳出予算の見通しについて伺う。

答 23年度は効果的な予算とするため各部単位で枠配分方式の予算要求を指示し、昨年度のように10%減の概算要求基準は設けていない。人件費は今後の退職者の増加により退職手当が大きな負担となっている。公債費は起債借入額の抑制で減少が見込まれる。重点施策は競艇場施設改善工事等がある。

新規事業及び拡充事業は必要性を見極め、歳出全般で削減を図り、創意工夫を凝らした予算編成とする。

小林優一(未来の会)

ラグーナ蒲郡の経営状況について

問 前倒し増資のお願いに際しラグーナ蒲郡から経営計画の提出はあったか。

答 中期経営計画はいただいたが、経営戦略的なものもあり、説明は省略させていただく。

観光振興策について

問 百人一首の歌碑を市内に配置し観光につなげようか。

答 観光の素材となると考えるが、運用面で課題もあり検討させていただく。

問 観光コンシェルジュ自らが企画運営する活動を促す必要があるのでは。

答 23年3月にコンシェルジュ主導組織の「コンシェルジュ倶楽部」を立ち上げる予定である。

その他の質問
1 乳がん検診の助成について

竹内政住(市政クラブ)

国道23号蒲郡バイパスの現況は

問 国道23号蒲郡バイパスの現況はどのようか。

答 西部区間については、平成24年度の供用開始を目指していると聞いています。東部区間は、平成19年度に事業着手し、地元合意を得て用地幅杭を設置したと聞いている。

中部土地区画整理事業について



中部土地区画整理地内

問 進捗状況及び今後の進め方について伺う。

答 今年度予算が予定どおり執行されれば進捗率が63%になる見込みである。今後は、本宿線、環状線及び本宿線整備に伴う区画道路を重要路線と位置づけ、地区内で中断している区画道路を接続し、投資効果が得られるように進めていきたい。これからも一定の予算を維持し、継続的に事業を進め、一日も早く事業完了するよう進めていきたいと思う。

大向正義(未来の会)

市民税の10%削減を

問 市民税の10%削減は、経費削減の象徴と捉えている。地方債を増額したり、地方交付税の交付団体となれば、減税はおかしいという立場は間違っていると考えます。市は減税についてどのように考えるか。

答 交付税は地方固有の財源であり、交付団体になることを恥じることはな

市民体育センター



いが、交付団体単独での減税は一般的には理解されにくく、本市は起債残高減少の取り組みもしているため、減税を実施する考えはない。

老朽施設(図書館、体育館)の建替計画は

問 老朽施設の建て替え計画について伺う。

答 小中学校の耐震工事を最優先で実施しており、24年度には一応の目処がつく。その他の公共施設の建て替えも危険度や優先順位をつけながら検討していく

段階に入ったと考えている。

大竹利信(公明党)

子宮頸がん等のワクチン接種の促進は

問 国で成立した補正予算に子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌の3ワクチンの接種の促進が盛り込まれている。多くの自治体が接種費用への公費助成を予定していると聞いているが、市の対応を伺う。

答 県内の他市町村と足並みそろえ、3ワクチンとも、国の示した対象者に接種する方向で検討したい。詳細が示されていないため、実施をするとしても、23年度からと考えている。

インターネットを利用したWeb図書館について

問 どこからでも24時間365日電子書籍を借り、パソコン等で読むことができる。また外出困難な高齢者、来館できない多忙な方でも気軽に利用できる。Web図書館の導入はどうか。

答 他市の公立図書館の状況を参考に、研究、検討していきたい。

新実祥悟(無党派)

第四次総合計画における公共交通の位置づけは

問 第四次総合計画に名鉄西尾・蒲郡線の存続問題をどう位置づけているか。

答 公共交通という項目で、必要性の位置づけがあり、案ではあるが、存続に

応じたものになっている。

問 総合公共交通体系を確立する動きはあるのか。第四次総合計画の素案に、公共交通事業者、



名鉄電車(赤い電車)

小中学校統廃合の危険性について

市民及び関係者等で協議会を設置するとしている。ここで議論をしていくと思う。

問 行財政改革という中で学校統廃合は議論すべきではない。市の考えは。

答 経費の削減、費用対効果という理由からではなく、少子化に対応した教育環境づくりの一つとして検討する必要があるとしてきた。あくまでも教育が主眼、教育の充実と公平性の確保が主眼だと考えている。

大場康議(市政クラブ)

鳥獣被害における被害額等の正確な把握を

問 県に提出する鳥獣被害防止計画は、被害額等を正確に記載する必要がある。しかし、被害に遭っても報告をしない人がたくさんおり、実際の被害額と市が集計した被害額とはかなりかけ離れていると思う。どのように考えているか。

答 鳥獣被害防止計画は12月中旬に提出したいと考えている。提出までにまだ時間があるため、正確なものになるよう被害額等の収集を徹底させたい。



捕獲されたイノシシ

住宅リフォーム助成制度について

問 2カ月以内で終わってしまった。この制度は、確実に経済効果を上げ、市民も大変喜んでいて。制度延長を早急に進めては。

答 国からの地域活性化交付金といった補正予算とあわせ、今年度内で執行できる形で臨時会をお願いしたいと考えている。

公民館の指定管理などを議決

12月市議会定例会は、11月30日から12月9日までの10日間の会期で開き、議案18件、意見書案2件、請願1件を審議しました。

また、12月市議会臨時会は、12月22日に1日の会期で開き、議案1件を審議しました。

条例の改正など、主な内容をお知らせします。

12月定例会・臨時会

議案

12月定例会

条例の改正

●市職員等の給与の改正 (第90号議案)

人事院の給与勧告に基づき、国家公務員の給与改定に準じ、市職員の給料表及び期末勤勉手当の支給割合が引き下げられるとともに、特別職（市長、副市長）、教育長及び議員の期末手当の支給割合が引き下げられました。

今回の改正により、12月に支給される一般職員の期末手当は0・15月、勤勉手当は0・05月のあわせで0・2月分引き下げられました。これにより、期末及び勤勉手当全体の年間支給割合は4・15月分から3・95月分になります。特別職、教育長及び議員については、期末手当が0・15月分引き下げられ、年間支給割合が3・1月分から2・95月分になります。また、行政職給料表6級相当（課長級）以上で55歳を超える職員については、

給料、期末及び勤勉手当の支給額から1・5%が減額されることになりました。



その他の議案

●三谷町財産区管理委員の選任 (第94号議案)

管理委員7人全員の任期が、平成23年1月13日に満

了することに伴い、後任委員（山出絃一氏、鈴木將友氏、伊藤幹夫氏、武内勝義氏、水野博行氏、藤田勝司氏、平野義則氏）の選任について同意しました。

●人権擁護委員の候補者の推薦 (第95号議案)

委員金澤佳子氏の任期が平成23年3月31日に満了することに伴い、引き続き委員として法務大臣に推薦することに賛成しました。

●指定管理者の指定 (第96号議案)

平成23年4月1日からの指定管理者が7ページの表のとおり指定されました。期間は、公民館は5年、それ以外の施設は3年です。

■12月定例会の日程

《11月》

30日 本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、一般質問など〕

《12月》

- 1日 本会議〔一般質問〕
- 2日 本会議〔一般質問〕
- 3日 総務委員会
- 6日 経済委員会
- 7日 文教委員会
- 9日 本会議〔委員長報告、質疑、討論、採決など〕

12月臨時会



市民会館

臨時会は、定例会のほか、必要な特定の事件に限って随時これを審議するために招集される議会です。

12月臨時会は、さきの第176回臨時国会で緊急総合経済対策として5兆円規模の補正予算が成立し、本市にも地域活性化交付金等の財源確保が見込まれる中、一日も早く景気対策を実施し、地域経済の活性化に貢献するため、12月22日に1日間の会期で開きました。

●平成22年度一般会計補正予算(第4号) (第108号議案)



●プレミアム付き商品券発行事業費補助金
消費者の購買意欲拡大を促進し、地域経済の活性化、商業振興を図るため、蒲郡商工会議所が実施する商品券発行事業に1210万円を補助します。

●住宅リフォーム促進事業助成金
11月24日に助成総額に達し申請受付が終了した住宅リフォーム促進事業を、平成23年2月1日から再開することを目的に5千万円が追加されました。

●今回の補正は、歳入・歳出の予算にそれぞれ1億5150万円が追加され、総額は、それぞれ261億2441万円になります。
補正予算の主なものは、次のとおりです。

■ 陳 情

○精神保健福祉手帳3級までの医療費全額助成の要望書

提出者 蒲郡精神障害者地域家族会
会長 坂口 孝行 氏
審査結果 聞きおく

○介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書

提出者 愛知自治体キャラバン実行委員会
代表者 徳田 秋 氏
審査結果 聞きおく(一部不採択)

○保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情書

提出者 愛知保育団体連絡協議会
会長 加藤 哲雄 氏
審査結果 聞きおく

○TPP交渉参加反対に関する緊急要請

提出者 蒲都市農業協同組合
代表理事組合長 石川 賢治 氏
審査結果 採択

■ 意見書

⑦知的障害養護学校(特別支援学校)の設置を求める意見書

愛知県知事、愛知県教育委員会委員長

⑧TPP交渉参加反対に関する意見書

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、国家戦略担当大臣
(○内の数字は、意見書案番号。⑦は全会一致で、⑧は賛成多数で可決されました。)

■ 請願

②TPPの参加に反対する請願

提出者 革新蒲郡まちづくり学校
清水 芳卓 氏
審査結果 採択

(○内の数字は、請願番号)

■ 指定管理者の決まった10施設

施設名	指定管理者
養護老人ホーム	社会福祉法人不二福祉事業会
小江公民館	小江公民館管理運営委員会
東部公民館	東部公民館管理運営委員会
北部公民館	北部公民館管理運営委員会
西部公民館	西部公民館管理運営委員会
塩津公民館	塩津公民館管理運営委員会
大塚公民館	大塚公民館管理運営委員会
形原公民館	形原公民館管理運営委員会
西浦公民館	西浦公民館管理運営委員会
市民会館	ピーアンドピーグループ蒲郡市民会館運営共同体

※太字は新規に指定管理となる施設及び指定管理者

12月定例会・臨時会で審議された議案の一覧

○条例の改正

- ⑨⑩市職員の給与に関する条例等の一部改正
- ⑨⑪手数料条例の一部改正
- ⑨⑫養護老人ホームの設置及び管理に関する条例の一部改正
- ⑨⑬公民館設置及び管理に関する条例の一部改正

○補正予算

- ⑩⑭平成22年度一般会計補正予算(第3号)
- ⑩⑮平成22年度モーターボート競走事業特別会計補正予算(第2号)
- ⑩⑯平成22年度一般会計補正予算(第4号)

○同意

- ⑨⑭三谷町財産区管理委員の選任

○その他

- ⑨⑮人権擁護委員の候補者の推薦
- ⑨⑯指定管理者の指定(養護老人ホーム)
- ⑨⑰指定管理者の指定(小江公民館)
- ⑨⑱指定管理者の指定(東部公民館)
- ⑨⑲指定管理者の指定(北部公民館)
- ⑨⑳指定管理者の指定(西部公民館)
- ⑨㉑指定管理者の指定(塩津公民館)
- ⑨㉒指定管理者の指定(大塚公民館)
- ⑨㉓指定管理者の指定(形原公民館)
- ⑨㉔指定管理者の指定(西浦公民館)
- ⑨㉕指定管理者の指定(市民会館)

(○内の数字は議案番号。⑨⑲、⑨⑳、⑨㉑は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決されました。また、⑨㉒に対する修正案が提出され、否決されました。太字は臨時会で審議された議案です。)

12月定例会・臨時会で議決された平成22年度補正予算(千円)

会計名	補正の主な理由	補正額	歳入・歳出 予算の総額
一般会計 (第3号)	蒲郡海洋開発(株)出資金 (300,000千円)	1,030,000	25,972,910
	南部保育園等改修事業費追加 (10,000千円)		
	予防接種事業費追加 (13,461千円)		
	人間ドック費追加 (23,600千円)		
	竹島水族館維持管理事業費追加 (10,500千円)		
	学校施設耐震補強事業費追加 (508,200千円)		
一般会計 (第4号)	地域活性化対策住宅リフォーム促進事業助成金追加 (50,000千円)	151,500	26,124,410
モーターボート 競走事業特別 会計(第2号)	場間場外発売委託事業費追加 (2,310,000千円)	3,286,160	127,026,160
	場間場外発売受託事業費追加 (976,160千円)		

※太字は臨時会で議決された補正予算です。

議場放映モニター

市議会では、議会の様子を放映するためのモニターを1階ロビーに設置し、開催中の本会議の様子を生中継しています。

モニターによる放映は、次回3月定例会でも引き続き行いますので、市役所に寄られた際にはぜひご覧ください。

本会議のインターネット録画放送

インターネットで本会議全体を録画放送しています。

一般質問に加え議案説明や議案の採決の様子もご覧になることができます。ぜひご利用ください。

インターネット録画放送のアドレス

<http://stream.city.gamagori.aichi.jp/gikai/act/chukei/index.html>



委員会通信

消防救急無線 デジタル化共同整備

12月3日に開かれた総務委員会において、消防救急無線デジタル化共同整備の報告がありました。

電波法の改正により、消防救急無線は、平成28年5月31日までに現在のアナログ方式からデジタル方式に移行するよう決定されています。

ます。デジタル化は、画像伝送等の高度利用が可能になったり、無線交信の盗聴防止が図られる等のメリットがあります。

移行に際して、広域的活動への対応、整備・運営費用の低廉化を図るため、消防救急無線を広域化・共同化するよう愛知県が整備計画を策定しています。この計画では、県下の37消防本部が11ブロックに編成さ

れています。東三河は全域（蒲郡市含む）で1ブロックとされ、共同整備することになっています。

東三河ブロックでは、平成22年6月から協議を開始し、23年度に電波伝搬調査、基本設計を行い、24年度に基本設計に基づいた課題の協議、25年度に実施設計の実施、26・27年度で機器を整備し、28年度の運用開始を目指していきます。

斎場の更新について

12月6日に開かれた経済委員会において、斎場の更新について、報告がありました。

未滿の小規模特別養護老人ホームの整備状況と今後の予定について、報告がありました。

現在の斎場は建設され、既に30年以上が経過し、施設や火葬炉の老朽化が進んでいます。今後の火葬需要の増加が見込まれていることから平成21年度に「斎場の基本構想」を業者委託して策定しました。

平成21年度から23年度までの第4期介護保険事業計画では、2カ所の小規模特別養護老人ホームの開設を予定していましたが、建設を予定していた法人から2カ所目の建設を辞退する旨の申し出がありました。

その結果、現在の場所での更新が可能で、現斎場を使用しながら、新しい斎場を建設する方法が採用されました。時間的にスムーズなため、段階的ではなく、一括で建て替えを行います。また、長年幸田町の住民の火葬を受け入れていることから、幸田町にも負担をお願したところ、蒲郡市と幸田町の一部事務組合（特別地方公共団体）で建設し、運営していく方向で検討することになりました。

このため、22年度と23年度に支払いを見込んでいた介護給付費と被保険者から徴収する介護保険料に差が生じることになります。この差額は、余剰金として基金に積み立てられて24年度から26年度までの第5期介護保険事業計画期間中の介護保険料に充てられることとなります。

他市町村議会からの視察一覧

〈7月〉

28日 沖縄県浦添市／ラグーナ蒲郡

〈8月〉

4日 静岡県藤枝市／病院事業

4日 茨城県日立市／子育て環境づくり計画、保育園民営化計画

〈10月〉

5日 千葉県鎌ヶ谷市／小中学校緊急地震速報受信装置設置事業

8日 刈谷市／自然還元式排せつ溝

15日 西尾市／モーターボート競走事業

19日 東京都稲城市／観光ビジョン、蒲郡駅周辺整備事業

19日 千葉県富里市／高齢者タクシー料金割引事業

21日 兵庫県尼崎市／総合窓口、モーターボート競走事業

25日 東京都六市競艇事業組合議会／モーターボート競走事業

〈11月〉

8日 京都府京田辺市／粗大ゴミ等運搬車両貸出事業

9日 奈良県広陵町／学校給食センター、自然還元式排せつ溝

11日 沖縄県浦添市／博物館、情報ネットワークセンター

17日 栃木県栃木市／蒲郡南駅前広場整備事業

地域密着型介護老人福祉施設 (サニライト型)の整備状況

12月7日に開かれた文教委員会において、定員30人

の介護保険事業計画では被保険者の対象者が変わることや施設入所の待機者が増加していることから、第5期介護保険事業計画での建設予定を前倒しして23年度までに施設を建設し、24年度から開設できるように法人を募集していきます。

議会日誌

10月15日から1月5日

11月

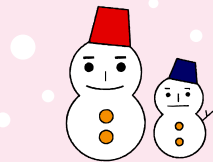
- 4日 議会運営委員会理事会
- 17日 議会運営委員会理事会
- 19日 12月定例会招集告示
議案説明会
- 25日 議会運営委員会
- 30日～12月9日
12月定例会

12月

- 7日 議会運営委員会
- 9日 議会だより編集委員会
- 13日 議会運営委員会理事会
- 15日 12月臨時会招集告示
- 20日 議会運営委員会
- 22日 12月臨時会

1月

- 5日 議会だより編集委員会



3月市議会定例会は、2月23日(水)から開かれる予定です。
詳しい日程は、2月21日(月)に開かれる予定の議会運営委員会で決まりますので、それ以後に議会事務局へお問い合わせください。
本会議の傍聴を希望される方は、会議当日、市役所7階の議会事務局で手続きをしてください。先着順に傍聴証をお渡しします。



竹内政住議員に総務大臣感謝状が授与されました。
この感謝状は、市区町村議会議員として35年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったと認められる方に贈られるものです。市議会議員では竹内議員を含め、全国で106名の方が受賞されました。

がまごおり議会だよりは、目の不自由な方向けに、番号、点字版とカセットテープ版を発行しています。
点字版は、点訳奉仕グループ「あい」の皆さん、カセットテープ版は、ボランティアグループ「声」の皆さんのご協力で発行されています。

3月定例会の 開会日・日程は

市区町村議会議員 総務大臣感謝状授与

議会だよりは点字版と テープ版も発行しています



今年4月には、市議会議員選挙が行われます。マスコミ関係者の要請で、12月議会閉会後に出馬を予定している議員らの顔写真撮影が行われました。選挙を前にあわただしさが増し、政治的な関心も高まる時期になります。

名古屋市ではリコールが成立し、議会の解散を問う住民投票が実施されることになりました。議会や議員の果たす役割、責務が問われることになりそうです。

議員の任期は4年。有権者の審判は、避けて通るわけにはいきません。市民は議会に何を期待し、何を求めているのでしょうか。そして、その期待に応える活動をしてきたかが評価されます。残された任期はわずかですが、言論の府にふさわしい職責を果たしたいと思ひます。

議会のことば 一修正の動議

議会に提出された議案に対して議員から修正案を提出するときの動議を「修正の動議」といいます。

動議とは、主に会議の進行や手続きに関して随時口頭で議員から議会に対してなされる単純な提案であって、議会の議決を受けなければならないもののことをいいます。なお、議案の修正案の提出は、会議の進行や手続きに関するものではありませんが、地方自治法で動議の形式をとるべきものとされています。

「修正の動議」は、正確を期すために議案の修正案を備え、議員定数の12分の1以上の議員が発案者として署名して、文書で議長に提出しなければなりません。

本市議会12月定例会に2名の議員から「蒲郡市一般会計補正予算に対する修正動議」が提出され、慎重に審議されました。